

リーディングDXスクール事業【実践事例】

幸手市立さかえ小学校（埼玉県）【指定校】

【取組内容】 個別の学びと学級全体の学びとを結びつけるICT活用【6年 総合的な学習の時間】

○自校の自慢をSNSツールで紹介する活動の中で、タブレット端末を活用して「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ってきた。

☆ICT活用：Microsoft teams、Microsoft PowerPoint、思考ツールソフト、SNS

（個別）「さかえ小学校の自慢」を調べる
→PowerPointや動画編集ソフトでSNS投稿記事を作成

Microsoft teamsの6年生のクラスチャネルの中に「さかえタイム【総合的な学習の時間】チャネル」を開設し、お互いが調べてきたことを確認したり、アドバイスを送り合ったりした。**（協働）**

自分たちの投稿記事の振り返りと
幸手市役所広報担当の方の話をもとに、
これからのさかえ小自慢のSNS投稿に必要なこと
について話し合う。**（協働）**

グループ協議・全体共有にて思考ツールソフトを活用 **（協働）**

自分たちの投稿内容が、本当に正しいかどうかを知るために、幸手市役所の広報の方をゲストティーチャーとして招聘



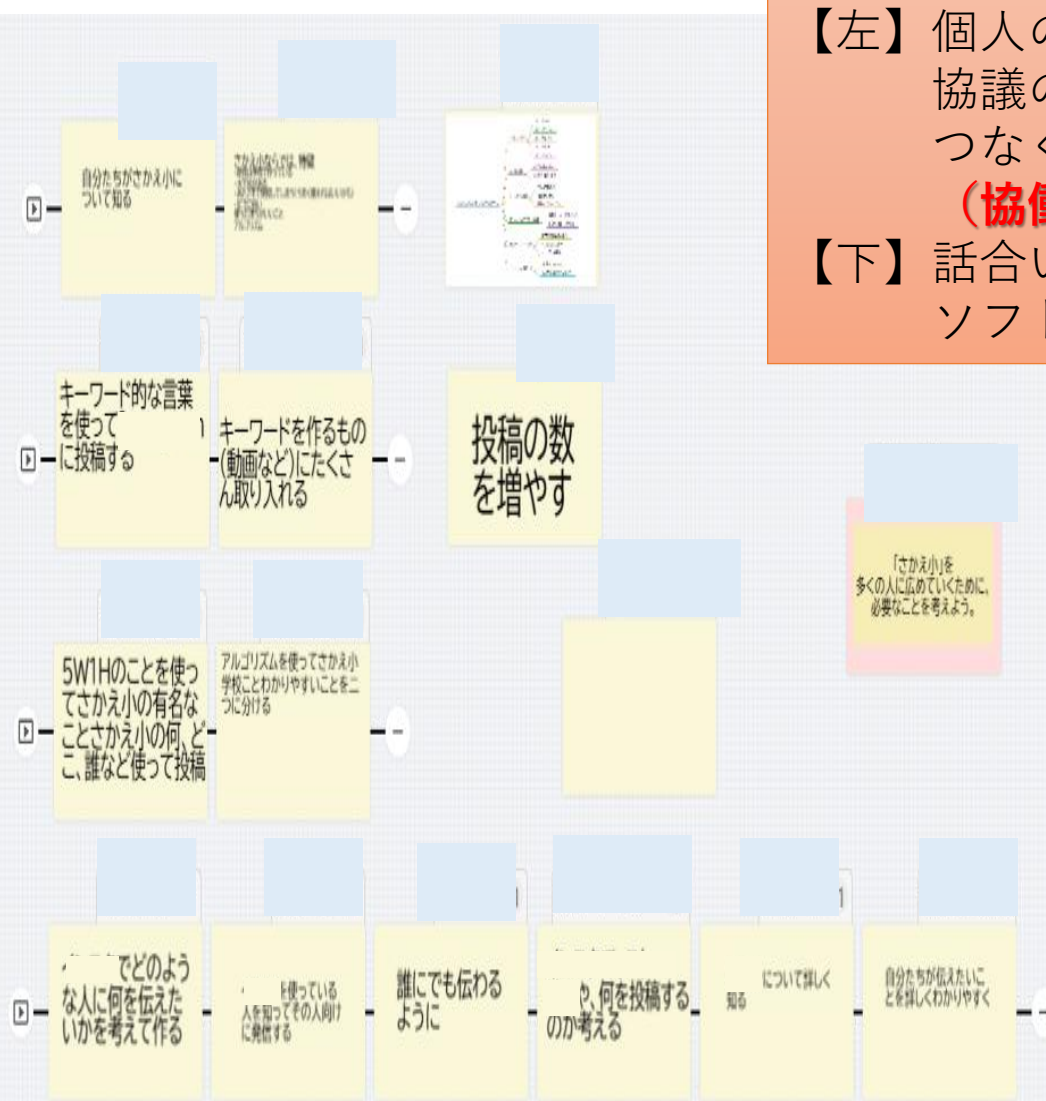
さかえ小学校の自慢を広めるという目標を立て、自分たちの考え・幸手市役所広報担当の方の想い・新たに更新された考えを共有するために、思考ツールソフトを活用



リーディングDXスクール事業【実践事例】

幸手市立さかえ小学校（埼玉県）【指定校】

【取組内容】 個別の学びと学級全体の学びとを結びつけるICT活用【6年 総合的な学習の時間】



【左】 個人の考えをまとめた後に、グループ協議の中で、似ている考え・違う考えをつなぐために思考ツールソフトを活用

(協働)

【下】 話し合い後の個人の振り返りを思考ツールソフトに入力 (個別)

～振り返り～

家でよくインターネットを使うのですが、ショート動画を見ていると、一方的に「伝える」動画視聴者さんに「伝わる」動画、と様々なものが出てきます。確かに一方的に伝えるショート動画より、視聴者さんに「伝わる」動画の方が内容が頭の中に入ってきてやすく、最後まで見る気になります。しかし、一方的に「伝える」動画だと、途中で飽きてしまったりすることで見てもらえない・関心されない投稿になってしまいます。なのでこれから投稿するときには、表示基準(アルゴリズム)や、5W1H(What, When, Who, Where, How)などを工夫して視聴者さんに「伝わる」投稿にしようと思います。

これからどんなことを意識してInstagramの投稿をしていきたいかな？



【実践から見てきたこと】本取組を継続してきたことで、児童が自らを見つめ、振り返る力が量的・質的に向上した。上記はある児童の振り返りだが、単元当初とは大きく変容している。今後は、深い学びの一層の定着を目指すべく、他教科等の学びを結び付け(コネクト)、知の精緻化を図っていく。